

1章 国際政治を志したわけ

29

ブラジルで一本のデモクラシーの樹を植えた父 30

小学一年で最初に出会った職業婦人 35

よく本を読んでもくれた父 38

英語の勉強は？ 42

バイリンガルならぬバイスクール 49

パール・ハーバーの授業 52

帰国の途のイギリス旅行 57

中学での赤星先生との出会い 59

花開く文学少女 62

2章 女性よ、志をあきらめるな

78

A F S留学でアメリカ・コンコードの高校へ 64

ベトナム戦争と反戦運動 67

いま平和のなかに生きていることの価値 70

アメリカン・マムの戦争と平和 74

大学時代、ドイツ語で政治思想の原典を読む 78

政治学における数量分析 82

ブルース・ラセットの魅力ある論文 85

ブルース・ラセット教授との運命の出会い 89

留学と母の切り抜き 92

猪口孝との出会い、結婚 96

小さな下宿の物語 99

彼が譲らなかった生活スタイルとは？ 102

エール大学での学問漬けの日々 105

うれしい留学延長 108

博士号取得のための険しい道のり 110

オン・キャンパス・レジデンスのすすめ 114

鶴見和子先生の助手から上智大学法学部へ 116

一人の学者を大成させねば 120

若き学者が集う自宅の学術サロン 123

「戦争と平和」を書く 128

講義にもいかされる「戦争と平和」 134

何百、何千の女性たちの思いを胸に 136

アンとシンシア——二人の女性学者 140

3章 戦争と平和を考える

144

拡大傾向にあった戦争規模 145

経済と戦死者数の関係 148

戦争を可能にするもの 150

覇権戦争のゆくえ 156

覇権国アメリカの揺らぎ 158

大国間の戦争はもはや起こらない!? 160

軍縮大使として 163

軍縮外交の逆風のなかで 165

レマン湖のほとりの公邸で 167

女性や子どもが犠牲になる小型武器 171

議長と全会一致主義 173

有効な刀狩りの方法とは？ 179

地雷除去と農地再生	180
核軍縮、カットオフ条約に向けて	182
相手の立場と時間軸	187
被害者の声を届ける	192
和解のプロセスと女性の役割	195
大使の激務乗り切り術	198
平和のためにできること	201

4章

男女が共に生きる社会のために

204

改革という火の玉に連なって	205
少子化・男女共同参画の特命担当大臣として	214
ローカル・ナレッジ(現場の知識)を聞く	217
少子化対策は世直し	222

子育て支援と働き方の改革	223
国の本気度をみせる	229
未来をつくる男女共同参画社会	235
二〇二〇年までに女性参画三〇%へ	238
女性たちの団結と三つの「ひ」	243
レイズ・ザ・ボイス!(声をあげよう)	246

5章

平和の地平で生きる

249

日本がもっている特別な光	250
高齢社会の平和	253
発展パラダイムの切り替え	256
平和と多様性の関係	259
グローバリゼーションと格差問題	262

二つの帽子	266
テロとの戦い	268
二一世紀はアジアの時代	271
排除しない、含まれるということ	275

あとがきにかえて——私からみた妻・猪口邦子について——猪口 孝 279